



LIVE REPORT

10/22 sat. 広島文化学園HBGホール

AI

## 次なる序章への進歩を告げる 最強エンターテインメントショー

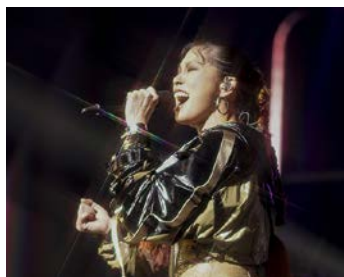
大きな話題となったNHK連続テレビ小説【カムカムエヴリバディ】の主題歌『アルデバラン』を含む約4年ぶりのオリジナル・アルバム『DREAM』を引っ提げ、5月から始まった【AI DREAM TOUR】。今回は人気振付師&ダンサーで親交も深いRIEHATAや、L.A.から招いた世界的トップ・コリオグラファー／芸術監督のルーサー・ブラウン（ジャネット・ジャクソン、クリスティーナ・アギレラほか）らが振り付けを手掛け、全国1000人以上の応募の中からオーディションを勝ち抜いた精鋭バックダンサー4人を迎えるなど、これまで以上の試みでAI自身もツアーに先立ち「史上最強の最高のライブになってしまいます」とコメントする渾身のステージに。10月22日、その広島公演が行われた。

バンドによる重いビートが不穏なムードを漂わせる中、紗幕が切って落とされ、天地左右に張り巡らされた特殊照明が独自の風景を創り出すセットの中央にAIが現れると会場は歓喜に溢れ、冒頭の空気を打ち破るように華々しくライブがスタ

ート。“私たちはそんなに違わない。人種や国境を超えてつながろう”という想いを込めた『Not So Different』をはじめ、「愛を広げて」と願う『VOICE』、雨色の照明の中、「晴れの日だけじゃ／花は育たない」とエモーショナルに紡ぐ『Welcome Rain』と、力強いダンスと共に体现される前向きなメッセージが届けられていく。

次のブロックではクラシカルで流麗なピアノソロに導かれ、着替えを終えた真っ赤な衣装そのままに、壮大で慈悲深い歌声で聴く者の心を癒した人気曲『Story』から、「広島には6月にテレビの収録で高校生たちと原爆ドームの前で歌ってきた。その時、被災者のおじいさん、おばあさんから色々な話を伺って。その話を本当に世界中でしてほしい」と音楽で平和や愛を伝え続ける彼女らしい言葉でこの場所への想いを語ったMCを挟み、『ママへ』『パパへ』では、観客の中から選ばれたママやパパとその家族を舞台上に呼び寄せ、目の前で歌を贈る嬉しい演出も。さらにEXILE ATSUSHIとの共作『So Special』ではバックিংボーカルを務める植松陽介と、ジュディス・ヒルを迎えた2010年の『For my Sister』では同じく高橋あず美との圧巻の二重唱を披露し、唯一無二の歌力でホールをたおやかな感動で包んだ。

中盤、『Dream』と描かれたド派手なサインボードとミラーボールが天井から降りてくると、会場は一瞬にしてディスコティックな「ソウル・トレイン」の世界へ。AIも全身金色のスパンコール衣装に身を包み、歌謡曲感も内包するサザンファンク・チューン『people in the World』をぶち上げると、「I Want to Take You Higher」（スライ&ザ・フ



### SET LIST

- |                         |   |
|-------------------------|---|
| 01. Not So Different    | 14. BE WITH YOU                                     |
| 02. VOICE               | 15. IT'S SHOW TIME                                  |
| 03. Welcome Rain        | 16. WA Interlude～IN THE MIDDLE                      |
| 04. 最終宣告                | 17. DANCE TOGETHER～MORIAGARO<br>～Welcome to My City |
| 05. INDEPENDENT WOMAN   | 18. First Time～My Baby<br>～THE MOMENT～Let it go     |
| 06. Story               | 19. Uh Uh..... ～I Wanna Know                        |
| 07. ママへ                 | 20. WE HAVE A DREAM                                 |
| 08. パパへ                 |   |
| 09. So Special          | <b>ENCORE</b>                                       |
| 10. For my Sister       | 01. Start Again                                     |
| 11. Soul Jingle         | 02. アルデバラン  |
| 12. people in the World | 03. ハビネス  |
| 13. BRAND NEW DAY～FAKE  |   |

ファミリー・ストーン）のフレーズを散りばめた『BRAND NEW DAY』から、原曲では安室奈美恵とタッグ組んだ『FAKE』へと繋ぎ、『IT'S SHOW TIME』では会場中を巻き込んだダンス大会が。最後はジェームス・ブラウンの“マントショー”も飛び出し、煌びやかな70年代ブラック・エンターテインメントに観客も熱狂。

そして最終ブロックは、『First Time (feat. RIEHATA)』『My Baby (feat.ロイド)』『THE MOMENT (feat.¥ellow Bucks)』『Let it go (feat. スヌープ・ドッグ)』など、音源では国内外のアーティストをフィーチャーした新旧の楽曲群をメドレーで再構築し、それを最先端のダンスショーで展開する挑戦的な構成に驚きつつも熱量は上がる一方。その圧倒的なAIのボーカルと呼应し、縦横無尽なサウンドを奏でるバンドとのスリリングで息の合った関係も見事だ。最後は、アルバムとは異なる情熱を湛えた『WE HAVE A DREAM』で幕を閉じた本編。アンコールでは新曲『Start Again』が演奏され、新たなアンセム『アルデバラン』からオーラスは名曲『ハビネス』で深い幸福感に満たされたこの日。グローバル・スタンダード・アーティストとしてさらに飛躍し、次なる序章へと歩みを進める貴重な瞬間に立ち会えた感動的な1日だった。

